

令和5年度第2回「ワンチームとやま」

連携推進本部会議 次第

日 時：令和5年8月31日（木）

16時00分～17時30分

場 所：富山国際会議場2階多目的会議室

1 開 会

2 知事あいさつ

3 議 事

（1）令和5年度連携推進3項目の進捗状況について

（2）県、市町村の行政課題等について

（3）その他

4 閉 会

配付資料

資料1 令和5年度連携推進3項目の進捗状況について

資料2 令和5年度本部会議年間スケジュール

参考資料1 「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」の開催について

参考資料2 令和5年度農林水産物等の輸出拡大について

配布資料 「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」案内パンフレット

「ワンチームとやま」連携推進本部会議出席者

1. 市町村等（17名）

富山市長	藤井 裕久
高岡市長	角田 悠紀
射水市長	夏野 元志
魚津市長	村椿 晃
氷見市長	林 正之
滑川市長	水野 達夫
黒部市長	武隈 義一
砺波市長	夏野 修
小矢部市長	桜井 森夫
南砺市長	田中 幹夫
舟橋村長	渡辺 光
上市町長	中川 行孝
立山町長	舟橋 貴之
入善町長	笹島 春人
朝日町長	笹原 靖直
市長会事務局長	田中 斉
町村会常務理事	利川 智

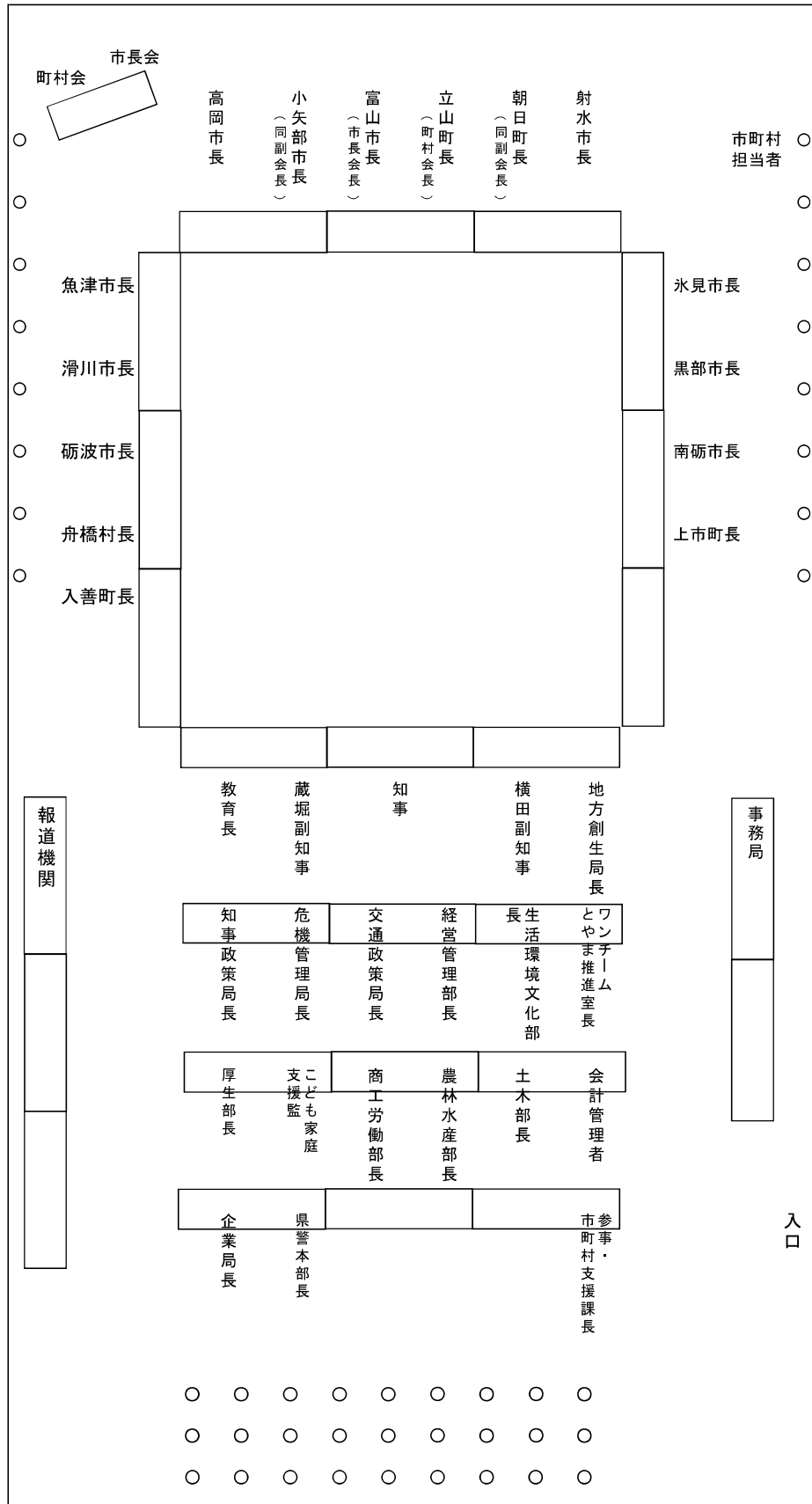
（代理：小竹副町長）

2. 県（20名）

知事	新田 八朗
副知事	蔵堀 祐一
副知事	横田 美香
教育長	荻布 佳子
県警本部長	石井 敬千
知事政策局長	川津 鉄三
危機管理局長	武隈 俊彦
地方創生局長	竹内 延和
交通政策局長	田中 達也
経営管理部長	南里 明日香
生活環境文化部長	廣島 伸一
厚生部長	有賀 玲子
こども家庭支援監	松井 邦弘
商工労働部長	中谷 仁
農林水産部長	津田 康志
土木部長	市井 昌彦
会計管理者	堀口 正
企業局長	籠浦 克幸
次長・ワンチームとやま推進室長	田中 雅敏
参事・市町村支援課長	滑川 哲宏

令和5年度第2回「ワンチームとやま」連携推進本部会議 配席図

日時: 令和5年8月31日(木) 16時~17時30分
 場所: 富山国際会議場2階多目的会議室



連携事項名 自治体行政のデジタル化

資料1

提案市町村: 射水市、氷見市、砺波市、滑川市、立山町

対象市町村: 全市町村

県担当課: デジタル化推進室、ワンチームとやま推進室、厚生企画課

◎ R5年度の取り組み事項

① 市町村DX推進の支援

自治体DXに関する取組の共有・支援
(WGで特徴的な取組を共有、県の体制強化・民間人材の採用)

② DX・働き方改革の推進

DX推進条例の制定、DX・働き方改革推進基本方針を見直し
新たな計画を策定

③ マイナンバーカードの普及・利活用促進

県・市町村による取得促進の取組実施、県独自のカード利活用
方法の実証、市町村や民間への横展開を検討

④ 基幹系業務システムの標準化

R7年度末に向けた標準準拠システム(20業務)の導入準備

⑤ 県・市町村間のデータ連携の推進

県でデータ連携基盤を構築、
基盤の共同利用や県の基盤と市町村の基盤の連携の準備

⑥ その他個別事項

県・市町村共同での職員研修の実施、個別システムの共同調達

◎ 協議スケジュール・取り組み内容

項目	2023(R5)年度												R6年度 (以降)
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
①市町村DX推進の支援	随時WGで自治体DXに関する取組の共有・支援												市町村のDX推進を支援
②DX・働き方改革の推進	DX推進条例を制定										新たな計画を策定		条例及び計画に基づき、DX・働き方改革を推進
③マイナンバーカードの普及・利活用促進	マイナンバーカード利活用の実証事業						利活用の取組を協議						県独自のカード利活用方法について、市町村や民間への横展開に向け検討
④基幹系業務システムの標準化・共通化	20業務の現況調査		事業者への情報提供依頼			調達方針・仕様書の作成			パッケージ、業者選定			業者選定、R7年度末までの標準準拠システムの導入	
	外字の統一作業など標準化に向けたデータ移行準備 など												
⑤県・市町村間のデータ連携の推進	県のデータ連携基盤の仕様書作成				業者選定手続		構築				運用テスト		基盤の共同利用や基盤の連携の実施
	共同利用や基盤連携に関する市町村の意向確認				費用負担等の協議		予算措置						
⑥その他取組事項	ICTに関する職員研修の実施 電子契約サービスの横展開に向けた準備 など												ICT研修等の継続実施 電子契約システムの共同調達

◎ R5年度の取り組みの進捗状況

項目	進捗	評価	今後の取り組み等
①市町村DX推進の支援	・WGで自治体DXに関する取組を共有(4/24、8/8) ※一覧表で共有	概ね順調	・市町村DX推進トップセミナーの開催(8/31) ・自治体DXに関する取組の共有、支援(10月、1月予定) ・市町村DX推進の支援人材の確保
②DX・働き方改革の推進	・本部会議の開催(6/9)	概ね順調	・県内市町村の意見を聞きながらDX推進条例を制定
③マイナンバーカードの普及・利活用促進	・県独自のマイナンバーカード利活用の実証事業を実施(9月末まで)	概ね順調	・実証事業の結果を市町村にも共有し横展開
④基幹系業務システムの標準化・共通化	・クラウド運用管理部会(8回開催)で、県内市町村の対応案及び標準化に向けた全体の流れを確認 ・標準準拠システムへの移行に向けた事業者への情報提供依頼を実施	概ね順調	・事業者の選定(プロポーザル)、発注 ・システム機能の比較分析整理、基幹系業務システムで使用されている外字等の調査 ・上乘せ、横出しの洗い出し
⑤県・市町村間のデータ連携の推進	・基盤の共同利用や基盤連携に関する市町村の意向確認 ・県のデータ連携基盤構築に係るプロポーザルを実施(8/21公募開始)	概ね順調	・県や市町村が保有するセンサーデータやオープンデータの可視化により県民に分かりやすくデータを提供することや、自治体職員等が各種データを一元的に把握することで迅速・的確な対応・対策を講じることに活用するため、最終的には県及び希望する市町村のデータを一元化する基盤を目指し、年度内に県のデータ連携を構築
⑥その他取組事項	・被災者生活再建支援システムの共同調達(5月) ・電子契約システムの共同調達(7月) ・管理職向けDX研修の共同開催(5月) ・RPAの事例紹介(7月)	概ね順調	・稼働に向けて準備(9月目途) ・電子契約システムの稼働(年度内に2団体) ・DX推進リーダー研修の県・市町村共同開催(係長級ほか)

連携事項名 こども・子育て施策の連携・強化

提案市町村:高岡市、射水市、魚津市、砺波市、県

対象市町村:全市町村

県担当課:こども家庭室

◎ R5年度の取り組み事項・協議スケジュール・取り組み内容

- 出産・子育て支援
 - ・出産・子育て応援交付金と子育て応援券を統合した新たな出産・子育て支援ポイント制度の創設
- 保育環境の充実
 - ・保育人材の確保策
 - ・病児・病後児保育の利便性の向上や広域化
 - ・第3子以降の保育料無償化の対象拡充
- ヤングケアラーへの支援
 - ・県・市町村における支援・連携体制の構築
 - ・県・市町村、関係機関等の合同研修会の実施
 - ・支援ガイドラインの策定
- 様々な困難を抱えるこどもへの支援
 - ・こどもの居場所づくりの推進
 - ・相談体制、包括的な支援策

項目	2023(R5)年度												R6年度(以降)	当面の目標	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
出産・子育て支援	出産・子育て支援ポイント制度の検討、新システム(アプリ)設計、用途の拡充等の検討、協議					システム(アプリ)構築、新規事業者開拓等(委託)			マニュアル作成、説明会		導入準備、テスト		新たな出産・子育て支援ポイント制度の導入、アプリ機能の充実	R6年度からの新ポイント制度導入	
保育環境の充実 ①人材確保 ②病児・病後児保育 ③保育料無償化	①ニーズ把握・事例共有		②現状把握・調査		③検討・協議		検討・協議		内容合意		必要な県・市町村で予算化		①新事業実施 ②広域化の実施 ③拡充策実施	①県・市町村協働による新たな取組み ②広域化の実現 ③無償化の対象拡充	
ヤングケアラーへの支援	ヤングケアラー実態調査の分析、分析を踏まえた対応策の検討					ヤングケアラー相談窓口の設置、関係機関との連携体制の構築			ヤングケアラー支援ガイドラインの検討		必要な県・市町村で予算化		支援ガイドライン策定	県・市町村等が連携したヤングケアラーへの支援	・相談体制・関係機関との連携体制の構築 ・支援ガイドラインの策定 ・県・市町村協働による新たな取組み
様々な困難を抱えるこどもへの支援	こどもの生活状況調査の分析、課題の整理				分析を踏まえた支援策の検討				新たな連携事業の内容合意		必要な県・市町村で予算化		県・市町村が連携した包括的支援	R6年度からの連携事業実施	

◎ R5年度の取り組みの進捗状況

項目	進捗	評価	今後の取り組み等
出産・子育て支援	<p>出産・子育て支援ポイント制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設計やアプリの仕様について協議 ・アプリ制作に係る事業者の提案募集、アプリ活用についての意向調査を実施 <p>母子保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ妊活健診スタートアップ事業の共同実施に向けた協議 <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな連携事業などについてのアンケート実施 	概ね順調	<p>出産・子育て支援ポイント制度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利便性向上に向けた、新たな登録店舗・施設の開拓 ・アプリ機能の追加や他のアプリとの連携について協議 <p>母子保健</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレ妊活健診スタートアップ事業の実施(10月～) <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を踏まえた新たな連携事業について協議
保育環境の充実	<p>保育人材の確保策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の共有や課題等について協議 <p>病児・病後児保育の利便性の向上や広域化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用をインターネット予約できるよう補助事業実施 ・広域化による現状・課題等について協議 <p>第3子以降の保育料無償化の対象拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内全域で拡充できるよう、協議・調整 <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな連携事業などについてのアンケート実施 	概ね順調	<p>保育人材の確保策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育人材確保策を体系化し、今後の対策について協議 <p>病児・病後児保育の利便性の向上や広域化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・さらなる広域化に向けた協議・調整 <p>第3子以降の保育料無償化の対象拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度より、第3子以降の所得制限を撤廃し、完全無償化の準備 <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を踏まえた新たな連携事業について協議
ヤングケアラーへの支援	<p>県・市町村における支援・連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤングケアラー実態調査結果の分析(支援・連携体制の構築や認知度向上の必要性の共有) <p>県・市町村、関係機関等の合同研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・合同研修会の実施時期や内容について協議 <p>ヤングケアラー支援ガイドラインの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・支援ガイドラインの構成案について協議 <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな連携事業などについてのアンケート実施 	概ね順調	<p>県・市町村における支援・連携体制の構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校、地域、福祉等の関係機関の連携体制の構築(ネットワーク会議の開催、発見から支援までの連携方法の検討) ・認知度向上のための効果的なPR方法について協議 <p>県・市町村、関係機関等の合同研修会の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10月:第1回、R6年1月頃:第2回 <p>ヤングケアラー支援ガイドラインの策定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の策定に向けて協議 <p>県・市町村が連携して取り組む新たな施策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート結果を踏まえた新たな連携事業について協議
様々な困難を抱えるこどもへの支援	<p>こどもの居場所づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの生活状況調査結果の分析 ・こどもの学習生活支援、こどもの意向を踏まえた居場所づくりの必要性の共有 ・こども食堂設置の拡充(R4.7月30箇所→R5.7月47箇所) <p>相談体制、包括的な支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存事業の共有や課題等について協議 ・新たな連携事業などについてのアンケート実施 	概ね順調	<p>こどもの居場所づくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもの居場所づくりを体系化し、拡充に向けて協議 ・こども食堂での学習支援事業を実施(県委託:9月～) ・こども食堂啓発セミナーの開催(県、市町村、民間団体等が参加) <p>相談体制、包括的な支援策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こども相談窓口の体系化、相談窓口同士や支援機関との連携強化 ・アンケート結果を踏まえた新たな連携事業について協議

連携事項名 観光再始動に向けた受入体制整備

提案市町村: 射水市、県

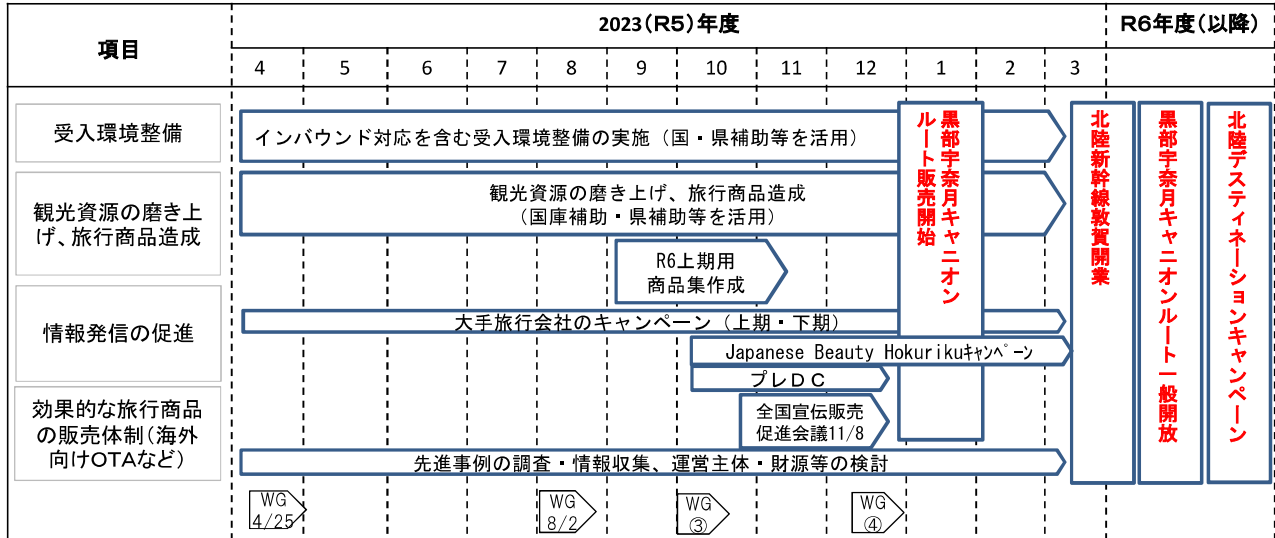
対象市町村: 全市町村

県担当課: 観光振興室

◎ R5年度の取り組み事項・協議スケジュール・取り組み内容

- インバウンド対応を含む受入環境整備
目標: 回復する観光需要に対応した受入環境の整備
- 観光資源の磨き上げ・旅行商品造成
目標: 各市町村やとやま観光推進機構と連携し、観光素材の磨き上げや旅行商品化を推進

- 情報発信の促進
目標: プレDCや全国宣伝販売促進会議等を活用し、市町村とタイアップした効果的な情報発信を実施
- 効果的な旅行商品の販売体制(海外向けOTAなど)
目標: 海外向けの商品造成や、海外向けでの試験的な販売を実施



◎ R5年度の取り組みの進捗状況

項目	進捗	評価	今後の取り組み等
インバウンド対応を含む受入環境整備	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁「地方における高付加価値なインバウンド観光地づくり」モデル観光地→富山を含む北陸エリアとして採択 ・観光庁補助事業等の活用(主なもの) 【観光再始動事業】 3件 このほか県内での事業実施を含むもの5件 【地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業】 1件 ・県内のインバウンド需要の動向について情報共有(8/2) 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・「モデル観光地」について、北陸エリアのキックオフミーティングを、R5.8.18に金沢市内で開催 ・マスタープランの検討 ・引き続き、観光庁補助事業や県の「持続可能な観光地域づくり補助金」などを活用して、回復する観光需要に対応した受入環境の整備を進めていく。
観光資源の磨き上げ・旅行商品造成	<ul style="list-style-type: none"> ・観光庁補助事業等の活用(上述のとおり) ・4~5月にかけ、15市町村を訪問し意見交換(観光素材や全国宣伝販売促進会議の準備等) ・観光素材の集約 ・機構との連携による観光資源の磨き上げ支援 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・観光素材の更なる磨き上げ・旅行商品造成支援 ・情報発信ツールの制作(観光素材集やガイドブックの編集、市町村単独でのパンフレットやノベルティーの準備等)
情報発信の促進	<ul style="list-style-type: none"> 5月 県から①全国宣伝販売促進会議における富山県分の構成②エクスカーションコース(県内視察先案)③ガイドブック等掲載観光素材の案について市町村に提示、協議 6月 北陸DC実行委員会で全国宣伝販売促進会議での各県の実施内容について、三県の要望を集約・協議、正式決定 7月 各内容について関係事業者と検討・準備(通年)読売旅行と連携した誘客キャンペーン 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・プレDC(10月~12月) ・北陸DC全国宣伝販売促進会議 全体会議(11/8 福井県)、エクスカーション(11/9、10北陸三県) ・海外での旅行博等への出展 タイ(10/6~9)、台湾(11/3~6)、シンガポール(2月) イギリス(秋頃) ・市町村や観光協会も使用可能な宣材写真の制作 ・フライヤー(ミニ冊子)の制作
効果的な旅行商品の販売体制(海外向けOTAなど)	<ul style="list-style-type: none"> 7月 県・市町村・機構が連携した公募型プロポーザルにより委託先選定、事業着手 	概ね順調	<ul style="list-style-type: none"> ・市町村、観光協会担当者向け研修会の実施 ・「VISIT 富山県」にある商品をインバウンド向け商品として造成し、既存の大手海外OTAにおいて試験的に販売

「ワンチームとやま」連携推進本部 令和5年度連携推進項目のWG取り組み状況について

連携項目名 (提案市町村)	主な検討事項	担当部局	WG開催状況
自治体行政のデジタル化 (射水市、氷見市、砺波市、滑川市、立山町)	<ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの共同導入による経費削減等 ・自治体の基幹系業務システムの統一・標準化 ・マイナンバーカードの活用による県内サービスの統一化等 	知事政策局 (まとめ) 地方創生局 厚生部	令和4年度に引き続いて 4/24,8/8:IT担当課長会議 8/3:マイナンバー連絡調整会議 4/26、5/31、6/28、7/26、8/3、8/9、8/21、8/30:クラウド関係会議も活用し協議
子ども・子育て施策の連携・強化 (高岡市、射水市、魚津市、砺波市、県)	<ul style="list-style-type: none"> ・出産・子育て支援 ・保育環境の充実 ・ヤングケアラーへの支援 ・様々な困難を抱える子どもへの支援 	厚生部	<ol style="list-style-type: none"> WGの開催 4/19:第1回、8/10:第2回 県・市町村担当課長会議の開催 5/30:出産・子育て支援ポイント制度、保育料軽減事業 7/26:ヤングケアラーへの支援 各市町村との意見交換 5~8月:全市町村を個別に訪問し、左記の検討事項について意見交換 4~8月:全市町村と個別に、オンライン又は対面で出産・子育て支援ポイント制度、母子保健、病児保育に関して意見交換 新たな連携事業などについてアンケートの実施 6~7月:県と提案市(魚津市)が連名で、全市町村に保育士人材確保に関するアンケートを実施 7~8月:県と提案市(高岡市)が連名で、全市町村にヤングケアラー及び子どもの居場所づくりに関するアンケートを実施 8月:全市町村に出産・子育て支援に関するアンケートを実施
観光再始動に向けた受入体制整備 (射水市、県)	<ul style="list-style-type: none"> ・インバウンド対応を含む受入環境整備 ・観光資源の磨き上げ・旅行商品造成 ・情報発信の促進 ・効果的な旅行商品の販売体制(海外向けOTAなど) 	地方創生局	<ul style="list-style-type: none"> ○2/22 WG会議を実施 ・WG設置の趣旨、黒部宇奈月キャニオンルート、北陸DCなど主要な取組みや、受入体制整備の方向性を共有 ○4/25 令和5年度 第1回WG会議を実施 ・敦賀開業、北陸DCに向けた受入環境整備や情報発信等の取組み状況について意見交換、各市町村の各種取組や現場の課題感等を共有 ・県と各市町村における出向宣伝や物産展等の開催予定を共有 ○8/2 令和5年度 第2回WG会議を実施 ・市町村タイアップ事業や全国宣伝販売促進会議の進捗状況について共有 ・観光庁や県補助事業の採択状況、インバウンド需要の動向について共有 ・市町村の特徴ある取組紹介や物産展等の開催予定を引き続き共有

「ワンチームとやま」連携推進本部 年間スケジュール

令和2年度	R3. 1. 10	※雪害対策への協力に関する臨時会議 (WEB)
	R3. 1. 19	「ワンチームとやま」連携推進本部会議設置
	R3. 2. 22	※新型コロナワクチン接種に関する臨時会議 (対面+WEB)
令和3年度	R3. 5. 14	※新型コロナワクチンの高齢者向け接種等に関する臨時会議 (WEB)
	R3. 6. 4	第1回本部会議の開催
	R3. 8. 31	第2回本部会議の開催 (WEB)
	R3. 10. 29	第3回本部会議の開催
	R3. 12. 8	※新型コロナウイルス対策に関する臨時会議 (WEB)
	R4. 1. 20	第4回本部会議の開催
令和4年度	R4. 3. 4	※新型コロナウイルス感染症対策に関する臨時会議 (WEB)
	R4. 5. 16	第1回本部会議の開催
	R4. 8. 30	第2回本部会議の開催 (WEB)
	R4. 10. 17	第3回本部会議の開催
	R5. 1. 19	第4回本部会議の開催
令和5年度	R5. 5. 18	第1回本部会議の開催 (web) ①令和5年度連携推進項目の取り組み内容等の報告 ② // スケジュール
	R5. 8. 31	第2回本部会議の開催 ①連携推進項目の取り組みの進捗状況等の報告
	R5. 11 上旬	第3回本部会議の開催 ①連携推進項目の取り組みの中間報告
	R6. 1 下旬	第4回本部会議の開催 ①令和5年度連携推進項目の取り組み結果報告 ②新年度の取り組み方針・項目の協議・決定

令和5年8月31日

地方創生局（ワンチームとやま推進室中山間地域対策課）

「全国過疎問題シンポジウム 2023 in とやま」の開催について

1 全国過疎問題シンポジウム

過疎地域の可能性について、新たな気づきや発見がある場とするとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機とするため、全国持ち回りで例年開催されているもの。

（今回は34回目の開催、本県初開催）

2 「全国過疎問題シンポジウム 2023 in とやま」の概要

テ ー マ：ウェルビーイング先進地域～多様な人材が創るこれからの地域社会～

開 催 日：令和5年10月26日（木）、27日（金）

主 催：総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会（富山県、（一社）全国過疎地域連盟、富山県地域振興団体協議会）

開催概要：

日程	内容等	参加者数 (予定)
1日目 (10/26)	<p>○全体会(富山県民会館) 13:00～17:00 ※展示ブースは11:00～オープン</p> <p>開会式(開会宣言、主催者挨拶ほか)</p> <p>過疎地域持続的発展優良事例表彰式</p> <p>基調講演 [講 師] 宮口 侗 氏(早稲田大学名誉教授)</p> <p>パネルディスカッション</p> <p>[コーディネーター] 指出 一正 氏(株)Sotokoto online 編集長)</p> <p>[パネリスト] 島田 優平 氏((一社)ジソウラボ代表理事)</p> <p>佐藤 みどり 氏(NPO 法人立山クラフト舎代表理事)</p> <p>藤田 とし子 氏(まちとひと 感動のデザイン研究所代表)</p> <p>金子 知也 氏((公社)中越防災安全推進機構 にいがたイナカレッジマネージャー)</p>	約 600 名
	○交流会(ANA クラウンプラザホテル富山) 18:00～19:30	
2日目 (10/27)	<p>○分科会(下記3市町に分かれて実施) 9:30～17:00</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1分科会(朝日町):優良事例発表、トークセッション、現地視察 ・第2分科会(氷見市):優良事例発表、現地視察 ・第3分科会(南砺市):パネルディスカッション、現地視察 	各分科会 約 100 名

参加者：過疎地域市町村職員・市町村議会議員、都道府県職員・都道府県議会議員、学識者、地域づくり実践者、地域づくり団体、過疎地域住民 等

3 備考（大会における富山の魅力発信・体感の取組みなど）

- ・全体会(1日目)会場では、展示ブースを設置し、過疎市町はじめ県内市町村や県のPR、物販等を行うほか、海洋深層水を使ったコーヒーの試飲など特色あるサービスも予定。
- ・県外参加者の大会終了後の週末滞在を促すため、本県独自の事業として、大会終了翌日(10/28(土))に希望制のオプションツアーを実施する予定。

とやま輸出コミュニティ

輸出に興味・関心・拡大意欲のある事業者や支援機関等が情報交換や交流を通じて、輸出に取り組む県内事業者のすそ野を広げる。

- ①メンバー：**164者（R5.7末現在）** ※随時入会
- ②交流サイト、輸出向け補助事業や商談会等の情報提供
- ③各種セミナー

第1回：5.19『タイの日本産食品マーケットと農林水産物等の輸出』

第2回：7.5開催『輸出商談対策&専門家との個別相談会』

第3回：12月頃予定

輸出アカデミー

海外バイヤーとのWEB商談手法の習得とマッチング（直接貿易）を目指し、全8回の講座制研修（R3～5で累計27事業者が受講）

- ＜主な研修内容＞
- ・海外企業へのプレゼンテーションスキル習得
 - ・商談資料作成の知識習得
 - ・海外バイヤーとのオンラインマッチングツールの活用 など

地域商社

事業者名	主なターゲット国	特徴
(有)グリーンパワーなのはな	米、英、仏、独、加	越境ECで世界展開
(株)ジェック経営コンサルタント	台湾、中国、タイ	台湾、タイ等に事務所あり
(株)横山商会	香港	香港等に事務所あり

海外でのプロモーション

①市町村と連携した富山独自のプロモーション

「とやま食品輸出拡大フェア in バンコク」

- ・実施時期：令和5年11月17日(金)～19日(日)
- ・参加者(予定)：13事業者（農林漁業者8，食品加工等事業者5）
※富山市、高岡市、魚津市、砺波市、射水市、上市町
- ・輸出品目：青果物（サツマイモ、白ネギ、ハナビラタケ、リンゴ）の他、顆粒だし、黒米茶、たれ、ドレッシング、調味みそ、昆布、パスタ、冷凍のホタルイカ・白えび、紅ズワイガ二等の加工品及び鮮魚を輸出予定
- ・企画概要
 - 「トンロー日本市場」での店頭プロモーション及び商談会
 - 飲食店等でのプロモーション



- ・バンコクに日本生鮮卸売市場（トンロー日本市場）を持つ国内商社（株）JALUX）を通じ、県産の青果物、鮮魚等を輸出。
- ・FDA登録についても県が生産者等を伴走支援。
- ・開催に係る経費は、県、市町村、事業者で負担

②その他の海外プロモーション

FOOD台北 2023

- ・国・地域：台湾・台北
- ・時期：令和5年6月14日～17日
- ・内容：「FOOD台北2023」出展

地域商社：
ジェック経営
コンサルタント

欧州「アニマルフリー」プロジェクト

- ・国・地域：ドイツ・ケルン
- ・時期：令和5年10月7日～11日
- ・内容：ドイツにて開催される「ANUGA 2023」に富山県ブースを出展（動物性原料を使用していない県産食品を輸出）

地域商社：グ
リーンパワーな
のはな

富山week inロンドン

- ・国・地域：イギリス・ロンドン
- ・時期：令和5年11月頃
- ・内容：ロンドンの商業施設等でプロモーション

観光部局と
連携

インドネシア「BtoB」プロジェクト

- ・国・地域：インドネシア・ジャカルタ
- ・時期：令和5年12月頃
- ・内容：現地レストランで富山県フェア及び商談会など、テストマーケティングを実施

新世紀産業
機構と連携

「冷凍食品」プロジェクト

- ・国・地域：アジア
- ・時期：令和6年3月頃
- ・内容：まずずしやかまぼこなどの食べ方提案やバイヤーとの意見交換会等を企画

ハンズオン支援

①市町村と連携した個別事業者支援

●補助対象事業者 富山県内の農林水産物の生産者及び食品を製造する食品関連企業等

●支援内容

トライアル型

◆対象経費

- ①海外を対象とした展示会、見本市商談会（オンライン含む）への出展
- ②海外向け商品開発研究、パッケージ改良等

◆補助率：3/4（県1/2、**市町村1/4**）、単年度

◆限度額：75万円（対象事業費100万円の3/4）

発展型

◆対象経費

- ①海外向け商品開発研究、パッケージ改良等
- ②コンサルを活用した市場調査や戦略策定、現地プロモーターと連携した販路開拓 など

◆補助率：3/4（県1/2、**市町村1/4**）、2か年

◆限度額：150万円（対象事業費200万円の3/4）

●R5年度の支援状況（7/未現在）

【R4：10件 → R5：19件（R5.8現在、相談中案件含む）】

	件数	トライアル型	発展型
申請済件数	8	富山市3、高岡市2、射水市1、黒部市1、入善町1	
相談中件数	11	富山市1、射水市2、魚津市1、砺波市3、上市町1	魚津市1、黒部市1、南砺市1

②ジェトロと連携した専門家派遣

企業の実情に応じて、海外インターネット販売のコンサルタント、海外展開を支援する中小企業診断士などの中から最適の専門家を企業に派遣し、輸出地域設定、規制、物流、決済、契約、販促などについてハンズオンで支援

③輸出産地等の支援

グローバル産地づくり推進事業（国10/10補助・ソフト事業）を活用し、『富山干柿出荷組合連合会』、『魚津漁業協同組合』の輸出事業計画の策定や輸出拡大活動を支援

Himi

Nanto

テーマ

Asahi

ウェルビーイング先進地域
 ～多様な人材が創るこれからの地域社会～

Himi

Asahi

Nanto

全国過疎問題 シンポジウム2023 in とやま

令和5年

2023

10.26 木 - 27 金

26日 木
全体会

富山県民会館ホール（富山市）

- 令和5年度
過疎地域持続的発展優良事列表彰式
- 基調講演「過疎地域の使命」
《講師》宮口 侗廸 氏（早稲田大学名誉教授）
- パネルディスカッション

交流会

「ウェルビーイング先進地域
～多様な人材が創るこれからの地域社会～」

ANAクラウンプラザホテル富山（富山市）

27日 金
分科会

朝日町

- 第1分科会 優良事例発表・現地視察
（あさひコミュニティホールアゼリア）

氷見市

- 第2分科会 優良事例発表・現地視察
（氷見市芸術文化館）

南砺市

- 第3分科会 パネルディスカッション・現地視察
（南砺市井波総合文化センター）

参加申込は
こちらから



主催／総務省、全国過疎問題シンポジウム実行委員会（富山県、一般社団法人全国過疎地域連盟、富山県地域振興団体協議会）

後援／農林水産省、国土交通省、子ども家庭庁（申請中）、文部科学省、厚生労働省、経済産業省、環境省、全国知事会、全国都道府県議会連合会、全国市長会、全国市議会議長会、全国町村会、全国町村議会議長会、全国山村振興連盟、一般財団法人地域活性化センター、富山県市長会、富山県市議会議長会、富山県町村議会議長会、公益財団法人富山県市町村振興協会、読売新聞北陸支社、朝日新聞富山総局、毎日新聞富山支局、北陸中日新聞、株式会社日刊工業新聞社富山支局、日本経済新聞社富山支局、（一社）共同通信社富山支局、時事通信社富山支局、北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ、富山エフエム放送、一般社団法人富山県ケーブルテレビ協議会

全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま 開催のご案内

大会趣旨

過疎地域では、人口減少や少子高齢化が進展し、産業の衰退による地域社会の活力の低下をはじめ、集落機能の低下等さまざまな課題に直面しています。

一方で、豊かな自然や農地、森林などを有する過疎地域は、水源の涵養、食料の生産、自然災害の防止といった人々の生活や生産活動を支える公益的役割を担うとともに、ウェルビーイング〈自分らしく幸せに生きられること〉を実感できる『幸せの基盤』が揃っています。

「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」は、過疎地域の可能性について、新たな気づきや発見がある場とするとともに、全国の優れた取組にふれ、参加者相互の交流を図るなど、人と人とのつながりを通じて将来に向けた取組を考える契機となることを目指します。

26日

木

全体会

富山県民会館ホール (富山市)

11:00 展示ブースオープン

12:00 受付開始

13:00 開会式

- ・開会宣言 富山県地域振興団体協議会過疎地域振興部会長 (朝日町長)
- ・主催者挨拶 総務大臣 (一社) 全国過疎地域連盟会長
- ・歓迎挨拶 富山県知事

13:20 令和5年度過疎地域持続的発展優良事例表彰式

13:50 休憩

14:05 基調講演「過疎地域の使命」
《講師》宮口 侗迪 氏 (早稲田大学名誉教授)

15:00 休憩

15:10 パネルディスカッション

「ウェルビーイング先進地域
～多様な人材が創るこれからの地域社会～」

【コーディネーター】 指出 一正 氏 ((株) sotokoto online 編集長)

【パネリスト】 藤田 とし子 氏 (まちとひと 感動のデザイン研究所 代表)

金子 知也 氏 ((公社) 中越防災安全推進機構にいがたイナカレッジ マネージャー)

島田 優平 氏 ((一社) ジソウラボ 代表理事)

佐藤 みどり 氏 (NPO法人立山 クラフト舎 代表理事)

16:55 次期開催県紹介

17:00 閉会

基調講演《講師》

としみち 宮口 侗迪 氏 (早稲田大学名誉教授)

1946年富山県富山市(旧細入村)生まれ。東京大学地理学科同大学院博士課程にて社会地理学を専攻し早稲田大学に勤務、1985年教授、その後教育・総合科学学術院長を歴任。2017年名誉教授。国土審議会専門委員、大学設置審議会専門委員、自治大学校講師、富山県景観審議会会長、富山市都市計画審議会会長を歴任、2021年3月まで総務省過疎問題懇談会座長として、新しい過疎法の制定に尽力、地方の発展のあり方について発言を続ける。1985年から富山市在住。『過疎に打ち克つー先進的な少数社会をめざしてー』(原書房)ほか著書多数。



パネルディスカッション《コーディネーター》

指出 一正 氏 ((株) sotokoto online 編集長)

『ソトコト』編集長。富山県「くらしたい国、富山」推進本部本部員、島根県「しまコトアカデミー」メイン講師、山形県小国町「白い森サステナブルデザインスクール」メイン講師、和歌山県田辺市「たなコトアカデミー」メイン講師、福島相双復興推進機構「ふくしま未来創造アカデミー」メイン講師、奥大和地域誘客促進事業実行委員会、奈良県、吉野町、天川村、曾爾村「MIND TRAIL 奥大和 心のなかの美術館」エリア横断キュレーター、群馬県庁31階「ソーシャルマルシェ&キッチン『GINGHAM (ギンガム)』」プロデューサーをはじめ、地域のプロジェクトに多く携わる。内閣官房、総務省、国土交通省、農林水産省、環境省などの国の委員も務める。経済産業省「2025年大阪・関西万博日本館」クリエイター。著書に『ぼくらは地方で幸せを見つける』(ポプラ新書)。



パネルディスカッション《パネリスト》

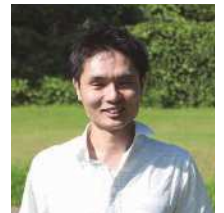
藤田 とし子 氏 まちとひと 感動のデザイン研究所 代表

かしわインフォメーションセンター時代には、クチコミを活用した魅力発信事業でまちのにぎわいと回遊性を創出。その後も一貫して持続可能なまちづくりにこだわり、市民起点の『まち歩きMAPプロジェクト』を全国150エリアで展開。次世代人材の育成に力を注いでいる。



金子 知也 氏 公益社団法人 中越防災安全推進機構 にいがたイナカレッジ マネージャー

中越地震により過疎化が加速した新潟県中越地域の農村地区で都市部の若者を受け入れるプログラム「にいがたイナカレッジ」を2012年に立ち上げる。プログラムへの参加をきっかけに定住する人も多くみられるようになり、県内各地にも活動の輪を広げている。



島田 優平 氏 (一社) ジソウラボ 代表理事

2008年から家業の林業に携わる。森林をキーワードに人と人との関係性や地域の方向性について考え、各種事業に参画。井波日本遺産推進協議会ワーキンググループ座長として、日本遺産関連事業を推進。これを機にジソウラボを有志で設立し、地域活性に取り組む。



佐藤 みどり 氏 NPO法人立山 クラフト舎 代表理事/陶芸家

愛知県瀬戸市を中心に陶芸を学ぶ。2014年富山県立山町に移住し、3年間立山町地域おこし協力隊として活動。2015年から、全国からの作りの作家が集うクラフトフェア「立山 Craft」を毎年主催。2017年NPO法人立山クラフト舎を設立し代表理事を務める。



26日
木

交流会

ANAクラウンプラザホテル富山 (富山市)

●交流会参加費

お一人様:5,000円

17:30 受付開始

18:00 開会～ 19:30 閉会

富山の地酒もご用意しています。
皆様のご参加をお待ちしております。



27日

金

分科会 (優良事例発表会・現地視察)

朝日町／氷見市

- ・当日は富山駅と各分科会場および各視察先を結ぶ専用バスを運行します。
- ・現地視察の定員は各80名です。申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・現地視察に参加される方には、参加費(昼食代)が発生します。
- ・午前のみ参加の方は無料です。(終了後、専用バスにて富山駅に戻ります)

第1分科会

朝日町

あさひコミュニティホール アゼリア

8:30 富山駅北口発(専用バス利用の場合)

9:15 会場受付開始

9:50 過疎地域持続的発展優良事例発表会

【コーディネーター】 宮口 侗迪 氏(早稲田大学名誉教授)

【発表者】 総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞受賞団体

11:55 スペシャルトークセッション

「富山県朝日町発、日本の幸せづくり

～一人ひとりが住みたい場所に住み続けるために～」

藤野 英人 氏 (一社)みらいまちラボ合同代表、
× (レオス・キャピタルワークス株式会社 代表取締役会長兼社長 CEO&CIO)

富山 洋平 氏 (朝日町次世代パブリックマネジメントアドバイザー、(株)博報堂)

12:30 解散(午前のみ参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:40 (昼食:紋左(たら汁定食))

1 ヒスイテラス(見学・ヒスイ探し)

2 ふるさと美術館(見学・DX取組事例紹介)

17:00 解散(富山駅)



あさひ舟川「春の四重奏」



ヒスイテラスから望むヒスイ海岸

第2分科会

氷見市

氷見市芸術文化館

8:30 富山駅北口発(専用バス利用の場合)

9:15 会場受付開始

9:50 過疎地域持続的発展優良事例発表会

【コーディネーター】 指出 一正 氏((株)sotokoto online 編集長)

【発表者】 総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞受賞団体

11:50 解散(午前のみ参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:00 (昼食:番屋亭(海鮮御膳))

1 氷見漁港場外市場 ひみ番屋街(お土産等購入)

2 SAYS FARM(見学、ワイン試飲※)※別途有料・希望者のみ

3 あいやまガーデン(見学)

4 漁業文化交流センター(見学)

17:00 解散(富山駅)



蛇ヶ島越しの立山連峰



氷見市漁業文化交流センター

27日

金

分科会 (パネルディスカッション・現地視察)

南砺市

- ・当日は富山駅と各分科会場および各視察先を結ぶ専用バスを運行します。
- ・現地視察の定員は各80名です。申込多数の場合は抽選により参加者を決定します。
- ・現地視察に参加される方には、参加費(昼食代)が発生します。
- ・午前のみ参加の方は無料です。(終了後、専用バスにて富山駅に戻ります)

第3分科会

南砺市

南砺市井波総合文化センター

8:15 富山駅北口発(専用バス利用の場合)

9:00 会場受付開始

9:30 パネルディスカッション

「集落の暮らしを未来へつなぐ
～縮退する過疎集落に向き合う現場での取組と課題～」

- 【コーディネーター】 関司 直也 氏(法政大学現代福祉学部 教授)
 【パネリスト】 田口 太郎 氏(徳島大学大学院社会産業理工学研究部 准教授)
 小玉 陽造 氏(山口県岩国市 市民協働部長)
 小島 公明 氏(兵庫県朝来市いくの地域自治協議会 事務局長)
 川島 尚子 氏(高知県室戸市まちづくり推進課 集落支援員)

12:00 解散(午前みの参加者は専用バスで富山駅へ)

現地視察 定員:80名

12:15 (昼食:道の駅木彫りの里(麦屋ポークの山海膳))

- 1 (一社)ジソウラボ取組紹介(概要説明・散策)
7年間で42件の空き家・空き店舗が再生されている井波のまちを、散策しながら体感していただけます。(クラフトビール工房、コーヒーショップなど)
- 2 世界遺産 相倉合掌造り集落(見学・お土産等購入)

17:00 解散(富山駅)



世界遺産 相倉合掌造り集落



ジソウラボ

参加申込のご案内

●参加費

(1名あたり)

10/26日 木	全体会	参加無料	
	交流会	5,000円	
10/27日 金	分科会	午前	参加無料
		現地視察	●第1分科会(朝日町) 2,130円(昼食代含む)
			●第2分科会(氷見市) 2,200円(昼食代含む)
			●第3分科会(南砺市) 1,950円(昼食代含む)

●参加申込方法

URLまたは二次元コードからWEBサイトにアクセスし、お申込みください。

<https://va.apollon.nta.co.jp/kaso-symposium2023/>

申込期限 令和5年9月8日(金)

締切後、確定した参加内容を日本旅行よりメールにてご案内いたします。参加費が生じる場合、その振込先等についても併せてご案内いたします。キャンセル料についてはWEBサイトをご確認ください。

※参加申込はWEBのみとなります。郵送、FAXによる申請は受け付けておりません。ご了承ください。



お問合せ先

【観光庁長官登録旅行業第2号/一般社団法人日本旅行業協会正会員】
 株式会社 日本旅行 TiS富山支店「全国過疎問題シンポジウム2023 in とやま」受付デスク 係(担当:木下・堀江・瀧川)
 〒930-0001 富山市明輪町1番230号 TEL:076(433)1184
 (営業日:平日10:00~18:00※土日祝日/年末年始は休業)

会場・交通案内

●飛行機でお越しの場合

《富山きときと空港》

- ▶富山～東京 約55分
- ▶富山～北海道 約1時間25分

《富山きときと空港》から会場までは
タクシーで約25分／バスで約25分
(富山市役所前下車すぐ)

●鉄道でお越しの場合

《JR富山駅》

- ▶富山～東京 約2時間10分
- ▶富山～大阪 約3時間10分
- ▶富山～名古屋 約3時間

《JR富山駅》から会場までは徒歩10分

●自動車でお越しの場合

《富山I.C》

- ▶富山～東京 約4時間50分
(関越自動車道 練馬I.C上信越自動車道-北陸自動車道 富山I.C)
- ▶富山～大阪 約4時間15分
(名神高速道路 豊中I.C-北陸自動車道 富山I.C)
- ▶富山～名古屋 約3時間
(東海北陸自動車道 一宮I.C-北陸自動車道 富山I.C)

全体会場・交流会 会場MAP



第1分科会 朝日町

あさひコミュニティホールアゼリア
〒939-0744 富山県下新川郡朝日町平柳688



第2分科会 氷見市

氷見市芸術文化館
〒935-0021 富山県氷見市幸町31-9



第3分科会 南砺市

南砺市井波総合文化センター
〒932-0231 富山県南砺市山見1400

